

月で暮らそう、月で遊ぼう 重力1/6のワンダーランド

※ご好評につき会期延長しました

展覧会期：2022年12月10日(土)～2023年3月31日(金)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
今後、会期やイベント情報が変更となる可能性があります。
最新の情報はギャラリーエークウッドの公式サイトをご確認ください。

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ギャラリーエークウッドでは、2022年12月10日から2023年3月2日まで、
「月で暮らそう、月で遊ぼう 重力1/6のワンダーランド」展を開催いたします。

今から40年後には、宇宙飛行士のような専門家でなくても、普通の人が行ける時代がやって来る！そんな未来を、2022年3月から10月までの期間、次世代を担うクルー（参加したα世代*のみなさん）が集まって、ワークショップやアイデアコンペを通じて、月での暮らしの衣食住について考えてきました。月では、どんな暮らしが待っているのだろう。

月の重力は地球の1/6。そこは、軽～い身体に変身できるワンダーランドかも知れません。月にあって地球にないものを探して、専門家やクルーたちが、たくさんの対話を重ねて、月での暮らしの一コマが完成しました。好奇心や想像力は、コミュニケーションを通じて無限大に広がります。

参加したクルーは、現在の地球のことをとても大切に思っています。きっとこの先も地球への想いを胸に、宇宙が生活圏になる未来を創造していくことでしょう。α世代のクルーたちが考えたイメージをヒントにしてもっと多くの対話が生まれ、それぞれの未来のイメージを広げていただけたらと思います。

ぜひ、一緒に月での暮らしの未来を考えてみませんか。

*α世代とは2010年以降に生まれた方々中心の世代です

この機会に貴紙誌にてぜひ記事としてお採り上げいただきたく、宜しく願い申し上げます。

敬 具

2022年11月

公益財団法人ギャラリー エークウッド



GALLERY A⁺ ギャラリーエークウッド

〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 TEL : 03-6660-6011 E-mail : gallery@aquad.jp URL : <https://www.a-quad.jp/>



■企画概要

展覧会名：月で暮らそう、月で遊ぼう 重力1/6のワンダーランド
会 場：GALLERY A⁴（ギャラリー エー クワッド） 〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1
会 期：2022年12月10日（土）～2023年3月31日（金）※ご好評につき会期延長しました
開館時間：10：00～18：00（土曜、最終日は17：00まで）
休 館 日：日曜・祝日、12月29日（木）～1月5日（木）
入 館 料：無料
主 催：公益財団法人 竹中育英会
企画・共催：公益財団法人 ギャラリー エー クワッド
特別協力：東京理科大学 総合研究院 スペースシステム創造研究センター
協 力：株式会社 竹中工務店、パナソニック株式会社
後 援：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、江東区教育委員会
全体監修：向井千秋（東京理科大学特任副学長）
お問合せ：ギャラリー エー クワッド事務局 TEL 03-6660-6011
E-mail：gallery@a-quad.jp GALLERY A⁴ 公式サイト：https://www.a-quad.jp/

■見どころ

1. Moonメットで変身

プロフェッショナル：ひびのこづえ（コスチューム・アーティスト）

α世代の参加者がデザイナーとなり、自分だけのムーンメットをデザイン。ひびのこづえさんの衣装づくりで生まれた端切れから、オリジナルなメットができました。展覧会では、アオイツキ（アオイヤマダと高村月）によるユニットがメットをかぶってパフォーマンス！ARで登場します。 ダンス 高村月/音楽と歌 アオイヤマダ



ひびのこづえ

2. Moon Houseの暮らしをのぞいてみよう

プロフェッショナル：森内康博（映像作家）

α世代のクルーたちが未来の月での暮らしを空想して、グループで映画を作りました。映画のシナリオや演出を考え、俳優、監督、カメラ、アフレコも自分たちで行い、4つのドラマが完成。1/6重力で暮らすクルーたちの悩み、そして解決法とは…？



森内康博

3. Blue Earthの特別メニューをつくろう

プロフェッショナル：栗原心平（料理家）

月から地球がまん丸に見える、満地球（Blue Earth）の日のためのごちそうメニューをα世代のみんなに考えてもらいました。その中から9点のメニューを栗原心平さんが再現し、展覧会でレシピと写真を初公開！地球を見ながら食べる日を想像して、家でも作ってみよう！



栗原心平 ©ゆとりの空間

4. 宇宙体操で身体を動かそう

プロフェッショナル：森山開次（ダンサー・振付家）

重力の小さい月では、身体がなまらないよう日々の運動がとても大切！月で一日二回行われる「宇宙体操」を森山開次さんが考えました。一緒に身体を動かそう！さらに、1/6の重力をイメージしたダンス映像を作りました。月の空から降ってくるいくつもの球体と、それを受け止め、戯れる開次さんに注目！1/6重力を感じよう！



森山開次

ひびのこづえさんデザインによる月の住居をイメージした展示会場で、この他にも未来の宇宙服のデザインや、満地球の日のごちそうのアイデアなど、α世代と考えた未来の月での暮らしを体験することができます。



全体監修：向井千秋



■関連イベント

各イベントは公式HP (<https://www.a-quad.jp/>) の申込みフォームよりお申込みください。
新型コロナウイルスの状況により今後中止、変更となる可能性があります。
最新情報は公式HPをご覧ください。

□オープニングイベント「宇宙体操で身体を動かそう！」

森山開次さん考案の「宇宙体操」を参加者の皆さんと一緒に行います。
月で暮らす未来を想像しながら、開次さんと一緒に身体を動かそう！

日 時：2022年12月10日（土）15：00～15：45

場 所：竹中工務店東京本店エントランス（東京都江東区新砂1-1-1）

講 師：森山開次（ダンサー・振付家）

定 員：30名（抽選） ※同伴1名まで可

対 象：7～18歳

参加費：無料

募集締切：2022年11月25日（金）

□オープン・セッション「月での暮らしを想像してみよう」

第一部では向井千秋先生より「月で暮らす」未来についてお話しいただき、
第二部ではα世代の子ども達と向井先生、的川先生とのセッションの様子を公開します。
セッションに参加してくれる子ども達も募集中！ぜひ奮ってご応募ください！

日 時：2023年2月4日（土）14：00～16：00

場 所：竹中工務店東京本店2階Aホール（東京都江東区新砂1-1-1）予定

講 師：第1部 向井千秋（東京理科大学特任副学長）

第2部 的川泰宣（宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 名誉教授、はまぎん こども宇宙科学館館長）
向井千秋

定 員：計100名（抽選）

お申込み時に「観覧希望」または「セッション参加希望」をご選択ください

対 象：観覧…7歳以上 セッション参加…7～18歳

参加費：無料

募集締切：2023年1月13日（金）



■広報用画像



a. ワークショップ「Moonメットをつくろう」で完成したMoonメット 撮影:光齋昇馬



b. ワークショップ「Moonメットをつくろう」の様子
プロフェッショナル:ひびのこづえ 撮影:光齋昇馬



c. ワークショップ「Moonメットをつくろう」の様子
撮影:光齋昇馬



d. ワークショップ「MoonHouseの暮らしを映画にしよう」の様子 プロフェッショナル:森内康博



e. ワークショップ「MoonHouseの暮らしを映画にしよう」の様子



f. f.~i. ワークショップ「MoonHouseの暮らしを映画にしよう」で完成した映画より



g.



h.



i.



j. アイディアコンテスト「Blue Earthの特別メニューを考えよう」受賞作を再現
プロフェッショナル:栗原心平 撮影:寺澤太郎



k. アイディアコンテスト「Blue Earthの特別メニューを考えよう」受賞作を再現 撮影:寺澤太郎



l. 月で身体を鍛える「宇宙体操」より
プロフェッショナル:森山開次



m. 1/6重力をイメージしたダンス
プロフェッショナル:森山開次



n. メインビジュアル
イラスト:本田亮